

## 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

## 有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
1	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	11, 2-2	機器搬入口の補強箇所について、記載を適正化した。 (旧) 機器搬入口の取付部は、 (新) 機器搬入口の胴及び取付部は、	
2	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	19/51, 30/161	同上	
3	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	全般	マスキング範囲を適正化した。	
4	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	全般	同上	
5	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	参1-1	原子炉格納容器本体の保全実績を踏まえ、記載を拡充した。 (旧) なし (新) また、保全計画に基づき必要に応じて肉厚測定を実施しており、これまでに有意な劣化は認められていない。	
6	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	144/161	同上	
7	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	8	女川では原子炉格納容器の構成部品を詳細に記しているため、記載を拡充したもの、泊では原子炉格納容器は本体のみで構成部品がないことから主旨が異なる。そのため、先行PWR審査実績に合わせ、削除した。 (旧) 原子炉格納容器本体は、鋼板の上部半球、下部さら形鏡円筒形である。 (新) 削除	
8	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	12/51	同上	
9	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	12	補足説明資料に合わせて、記載を適正化した。 (旧) 包絡されると考える。 (新) 包絡される。	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
10	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	19/51	同上	
11	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	18	先行審査実績を踏まえ、記載を適正化した。 (旧) 貫通配管に考慮される (新) 貫通配管の設計時に考慮される	
12	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	30/51	同上	
13	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	19	先行審査資料の記載を踏まえて、記載を適正化した。 (旧) したがって、スリーブの機能喪失要因は、高温状態で内圧を受け、過度な塑性変形に伴う延性破壊が想定される。 (新) したがって、スリーブの機能喪失要因は、高温状態で内圧及び原子炉格納容器の変形に伴う配管からの荷重を受け、過度な塑性変形に伴う延性破壊が想定される。	
14	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	31/51	同上	
15	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	5-1	先行審査資料の記載を踏まえて、記載を適正化した。 (旧) したがって、スリーブの機能喪失要因は、高温状態で内圧を受け、過度な塑性変形に伴う延性破壊が想定される。 (新) したがって、スリーブの機能喪失要因は、高温状態で内圧を受けること、及び原子炉格納容器の変形に伴い配管からの荷重を受けることによる、過度な塑性変形に伴う延性破壊が想定される。	
16	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	77/161	同上	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
17	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r. 6. 0)	23	先行審査資料の記載及び伸縮継手の脆性破壊が評価対象外であることを明示するため、下線部を追記した。 「伸縮継手は、原子炉格納容器本体に配管等を接続するために設けた部材であり、短管に溶接構造で取り付けられている。伸縮継手の設計時に考慮される機能喪失要因は、脆性破壊及び疲労破壊が考えられる。今回の評価条件である200℃、2Pdの条件を考慮した場合、脆性破壊が生じる温度域でないことから、脆性破壊は評価対象外と考えることができる。一方、200℃2Pdの環境下では、原子炉格納容器が大きく変形することにより伸縮継手にも変形が生じる。」	
18	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r. 6. 0)	37/51	同上	
19	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r. 6. 0)	24, 10-1	「圧壊が考えられる」という文末表現が重複していたことから、記載を適正化した。 (旧) 200℃、2Pdの環境下では、短管に対し原子炉格納容器内圧が作用する。このとき、短管の機能喪失要因としては外圧が作用することによる圧壊が考えられる。 (新) 一方、200℃、2Pdの環境下では、原子炉格納容器内圧が短管に対しては外圧として作用する。このとき、短管の機能喪失要因としては外圧が作用することによる圧壊が想定される。	
20	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r. 6. 0)	38/51, 125/161	同上	
21	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r. 6. 0)	4-4	先行審査実績を踏まえ、記載を拡充した。 (旧) なし (新) なお、今回評価を行う管の温度変化サイクル数はいずれも7,000回未満であり、 $f = 1.0$ とする。	
22	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r. 6. 0)	63/161	同上	
23	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r. 6. 0)	5-10	先行審査実績を踏まえ、記載を適正化した。 (旧) 「なお、貫通部番号413, 414の各Fx, Mz' の値の大きい方を14Bスリーブの評価用荷重として、以降、14Bスリーブとして評価する。」 (新) 「表5-4より、貫通部番号413, 414の各Fx, Mz' の値の大きい方の配管荷重を、スリーブ本体呼び径14Bの評価用荷重とする。」	
24	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r. 6. 0)	87/161	同上	
25	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r. 6. 0)	5-19	先行審査実績を踏まえ、記載を適正化した。 (旧) 「なお、貫通部番号413, 414の各Fx, Mz' の値の大きい方を14Bスリーブの評価用荷重として、以降、14Bスリーブとして評価する。」 (新) 「表5-12より、貫通部番号413, 414の各Fx, Mz' の値の大きい方の配管荷重を、スリーブ本体呼び径14Bの評価用荷重とする。」	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
26	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	93/161	同上	
27	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	参1-1	先行審査実績を踏まえ、記載を適正化した。 (旧) なお、原子炉格納容器本体に対して (新) また、原子炉格納容器本体に対して	
28	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	144/161	同上	
29	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	5-4, 5-5, 5-16, 5-17, 5-19	先行審査実績を踏まえ、図表を拡充した。	
30	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	79/161, 80/161, 81/161, 90/161, 92/161	同上	
31	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	ii, 参2-4	No29の対応より資料枚数が増加したことから、ページ数を適正化した。	
32	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	1/161, 151/161	同上	
33	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	3-11, 3-13	添付3-3の比較対象を柏崎6, 7号炉よりも新しい審査実績である島根2号炉へ変更した。また、比較対象の変更に伴い、記載を適正化した。	本適正化に伴い、補足説明資料の資料枚数(比較表)が1枚減少した(総枚数: 162枚→161枚)。
34	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録2 原子炉格納容器の温度及び圧力に関する評価 (SAE9 r.6.0)	57/161, 58/161	同上	